

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月26日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社カインス

コード番号 4556 URL <http://www.kainos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村利通

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部本部長 (氏名) 徳永孔志

TEL 03-3816-4123

四半期報告書提出予定日 平成22年11月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,206	10.2	115	72.5	110	100.6	26	68.8
22年3月期第2四半期	2,001	13.0	66	—	54	—	15	△92.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	5.99	—
22年3月期第2四半期	3.55	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	5,602	2,649	47.3	595.01
22年3月期	5,677	2,658	46.8	596.89

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 2,649百万円 22年3月期 2,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,260	1.1	170	△18.5	150	△19.8	49	△51.7	11.00

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	4,558,860株	22年3月期	4,558,860株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	105,753株	22年3月期	105,239株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	4,453,193株	22年3月期2Q	4,455,080株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページをご参照ください。

添付資料の目次

		頁
1	当四半期決算に関する定性的情報	1
	(1) 経営成績に関する定性的情報	1
	(2) 財政状態に関する定性的情報	1
	(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2	その他の情報	2
	(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
	(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
	(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	2
3	四半期財務諸表等	3
	(1) 四半期貸借対照表	3
	(2) 四半期損益計算書	4
	(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
	(4) 継続企業の前提に関する注記	6
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
	(6) セグメント情報	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期会計期間における我が国経済は、個人消費や雇用情勢の改善が進まない状況の下で、為替相場は円高基調での推移を示すなど依然として厳しい環境が続いており、今後の企業収益への影響が懸念されはじめております。

このような環境の下、当第2四半期の業績につきましては、売上高は22億6百万円(前年同期比10.2%増)となりました。

検査分野別におきましては、生化学分野では、腎機能検査薬及び糖尿病検査薬が好調な伸びを示したことにより6億9千5百万円(前年同期比13.2%増)となりました。免疫分野では、第1四半期に引き続きアレルギー診断薬が好調な伸びを示し13億8千4百万円(前年同期比13.2%増)となり、また、その他の分野におきましては、主に遺伝子関連試薬により1億2千5百万円(前年同期比23.2%減)となりました。

また、営業利益及び経常利益につきましては、それぞれ1億1千5百万円(前年同期比72.5%増)、1億1千万円(前年同期比100.6%増)となり、四半期純損益では、第1四半期における投資有価証券評価損及び第2四半期での投資有価証券売却益などの特別損益の計上により2千6百万円(前年同期比68.8%増)となりました。

検査分野別売上高

(単位：千円)

区 分	期 別	前第2四半期累計期間 〔自平成21年4月1日 至平成21年9月30日〕		当第2四半期累計期間 〔自平成22年4月1日 至平成22年9月30日〕	
		金 額	構成比	金 額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	578,642	28.9	654,811	29.7
	免疫血清学的検査用試薬	164,789	8.2	189,190	8.6
	そ の 他	125,086	6.2	107,027	4.9
	計	868,518	43.4	951,029	43.1
商 品	生化学的検査用試薬	36,317	1.8	41,144	1.9
	免疫血清学的検査用試薬	1,058,114	52.9	1,195,219	54.2
	そ の 他	38,688	1.9	18,795	0.9
	計	1,133,120	56.6	1,255,159	56.9
合 計	生化学的検査用試薬	614,960	30.7	695,955	31.5
	免疫血清学的検査用試薬	1,222,903	61.1	1,384,409	62.8
	そ の 他	163,775	8.2	125,823	5.7
	計	2,001,638	100.0	2,206,189	100.0

(注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

2. 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産の額は、56億2百万円となり、前事業年度末と比べ7千4百万円の減少となりました。その主な要因は次のとおりです。当第2四半期会計期間末における流動資産は21億7千2百万円となり、前事業年度末と比べ1億5千万円の減少となりました。これは、長期性預金の預入、販売促進用機器の購入及び配当金の支払いなどにより現金及び預金が7千2百万円、受取手形及び売掛金については、主に新型インフルエンザの流行の終息の影響により7千6百万円それぞれ減少したためです。固定資産につきましては、34億3千万円となり、前事業年度末と比べ7千5百万円の増加となりました。その主な要因は、投資有価証券評価損の計上により投資その他の資産が5千1百万円減少する一方、長期性預金1億円及び、無形固定資産の投資3千4百万円の増加によるものです。

当第2四半期会計期間末の負債の額は、29億5千3百万円となり、前事業年度末と比べ6千5百万円の減少となりました。その主な要因は次のとおりです。当第2四半期会計期間末における流動負債は2億4千4百万円となり、前事業年度末と比べ5百万円の増加となりました。これは、主に長期借入金からの振替などにより7千3百万円と未払税金及び未払金1千8百万円の増加、支払手形及び買掛金7千7百万円と賞与引当金及び未払費用など9百万円の減少によるものです。固定負債につきましては、リース債務が2千7百万円増加したものの、長期借入金の返済9千8百万円により7千万円の減少となりました。

当第2四半期会計期間末の純資産の額は、26億4千9百万円となり、前事業年度末と比べ8百万円の減少となりました。その主な要因は、四半期純利益2千6百万円を計上したものの、配当金3千3百万円の支払いを行ったためです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は6億9千万円となり、前事業年度末と比べ2千7百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少7千7百万円、前期決算に係る法人税等3千6百万円の納付などがあったものの、その一方で、税引前四半期純利益5千1百万円、減価償却費の計上6千8百万円、売上債権の減少7千6百万円及び投資有価証券の評価損5千1百万円などにより、1億2千3百万円の増加(前年同期は5千4百万円の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却により8百万円増加したものの、その一方で販売促進用機器など4千万円を取得したことにより、3千2百万円の減少(前年同期は2百万円の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金7千5百万円増加したものの、短期借入金1億円、前事業年度の配当金3千3百万円の支払いなどにより6千4百万円の減少(前年同期は7千5百万円の減少)となりました。

(3)業績予想に関する定性的情報

当期の国内経済は、今後も当第2四半期に引き続き不透明な環境の下で推移するものと思われま。臨床検査薬業界におきましても診療報酬の改定や競合他社との価格競争など、経営環境は依然厳しい状況にあり、当社といたしましても一層の企業努力に努めてまいります。

第2四半期累計期間までの業績につきましては、当社の主力製品であります腎機能検査薬をはじめとした生化学分野及びアレルギー診断薬などの免疫分野が好調な推移を示し、平成22年7月23日付の当社「平成23年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」においてお知らせしました予想業績を上回る結果となりましたが、通期業績につきましては、生化学分野及びアレルギー診断薬などの免疫分野は引き続き順調な推移が見込まれる一方で、P O C T関連試薬が当初見込みに対し伸び悩むことが予想されるため、現時点におきましては、通期予想の見直しは行っておりません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

1. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

2. 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前事業年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合に、前事業年度決算において使用した将来の業績予測やタックスプランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより税引前四半期純利益が3,600千円減少しております。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	830,774	903,745
受取手形及び売掛金	956,120	1,032,370
商品及び製品	125,631	132,093
仕掛品	52,446	60,027
原材料及び貯蔵品	144,908	121,485
その他	65,357	75,668
貸倒引当金	2,900	2,900
流動資産合計	2,172,338	2,322,492
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	805,861	825,590
土地	1,851,453	1,851,453
その他(純額)	156,716	135,410
有形固定資産合計	2,814,030	2,812,453
無形固定資産	93,472	77,191
投資その他の資産	523,121	465,247
固定資産合計	3,430,624	3,354,893
資産合計	5,602,963	5,677,385
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	713,513	791,264
短期借入金	1,176,370	1,102,850
未払法人税等	51,095	45,932
賞与引当金	65,800	78,600
その他	237,733	220,797
流動負債合計	2,244,513	2,239,444
固定負債		
長期借入金	590,590	688,660
その他	118,206	90,941
固定負債合計	708,796	779,601
負債合計	2,953,309	3,019,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	928,733	928,733
利益剰余金	972,738	979,465
自己株式	89,910	89,740
株主資本合計	2,642,975	2,649,871
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,678	8,467
評価・換算差額等合計	6,678	8,467
純資産合計	2,649,654	2,658,338
負債純資産合計	5,602,963	5,677,385

(2) 四半期損益計算書
(第 2 四半期累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)
売上高	2,001,638	2,206,189
売上原価	1,291,127	1,426,107
売上総利益	710,511	780,081
販売費及び一般管理費	643,657	664,744
営業利益	66,854	115,336
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,220	5,517
為替差益	-	1,625
受取賃貸料	4,766	4,636
その他	1,239	2,749
営業外収益合計	11,226	14,528
営業外費用		
支払利息	16,742	14,960
手形売却損	460	248
為替差損	766	-
賃貸費用	3,391	2,849
その他	1,814	1,672
営業外費用合計	23,175	19,731
経常利益	54,905	110,133
特別利益		
投資有価証券売却益	12	4,357
特別利益合計	12	4,357
特別損失		
固定資産除却損	3,695	7,431
投資有価証券評価損	-	51,565
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	3,600
特別損失合計	3,695	62,596
税引前四半期純利益	51,222	51,895
法人税、住民税及び事業税	31,220	43,420
法人税等調整額	4,200	18,200
法人税等合計	35,420	25,220
四半期純利益	15,802	26,675

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	51,222	51,895
減価償却費	60,838	68,926
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	3,600
売上債権の増減額(は増加)	33,797	76,250
たな卸資産の増減額(は増加)	8,626	9,379
仕入債務の増減額(は減少)	3,385	77,750
投資有価証券評価損益(は益)	-	51,565
その他	11,996	3,898
小計	169,867	169,005
利息の支払額	17,730	14,790
法人税等の支払額	103,059	36,210
その他の収入	5,286	5,406
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,364	123,410
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	2,443	40,852
定期預金の預入による支出	-	100,000
定期預金の払戻による収入	-	100,000
投資有価証券の売却による収入	30	8,800
その他	325	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,087	32,026
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	100,000	100,000
長期借入れによる収入	-	200,000
長期借入金の返済による支出	155,720	124,550
配当金の支払額	17,843	33,636
その他	1,530	6,159
財務活動によるキャッシュ・フロー	75,093	64,345
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	10
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	22,825	27,028
現金及び現金同等物の期首残高	708,143	663,745
現金及び現金同等物の四半期末残高	685,318	690,774

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

当社は、臨床検査薬の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。